

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第5巻第15号

第15週(4月11日～4月17日)

発行年月日:平成17年(2005年)4月22日

発行:滋賀県衛生科学センター内

滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

1)全数報告の感染症(1類～5類)

感染症類型	疾患名	報告数 (15週)	累積報告数		平成16年報告数	
			滋賀 (15週)	全国 (15週)	滋賀	全国 ^(*1)
1類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
2類感染症	細菌性赤痢	0	3	182	9	576
	腸チフス	0	0	17	17	66
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	197	21	3,640
4類感染症	E型肝炎 ^(*2)	0	0	14	1	34
	オウム病	0	0	17	1	39
	デング熱	0	1	7	2	45
	マラリア	0	0	19	2	73
5類感染症	アメーバ赤痢	0	1	195	8	580
	ウイルス性肝炎	0	0	93	5	299
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	23	1	53
	後天性免疫不全症候群	0	0	292	6	1,119
	ジアルジア症	0	0	15	2	85
	梅毒	0	0	141	4	516
	破傷風	0	0	20	2	100
急性脳炎	0	0	64 ^(*2)	1	164	

*1:平成16年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。

*2:平成17年第13週現在の報告数です(iDWR掲載の報告数を参考にしています)。

2)定点把握の対象となる5類感染症

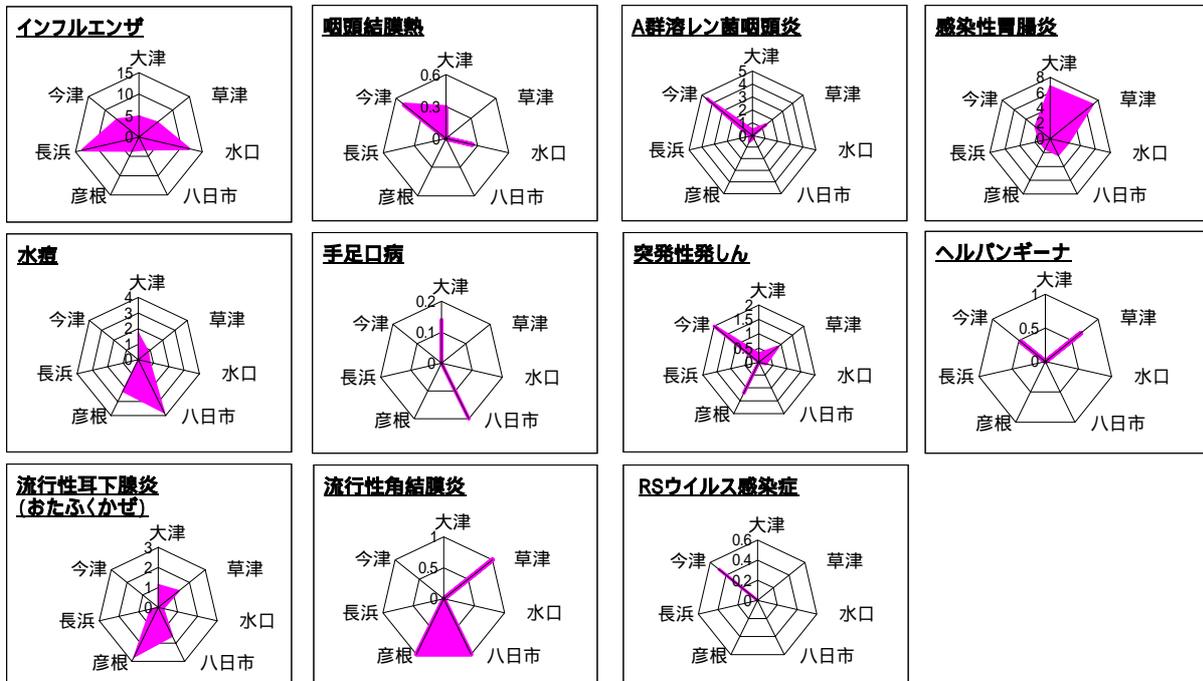
(1)疾病別・週別発生状況(第10～15週、3/7～4/17)

疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)										
	10週	11週	12週	13週	14週	15週	週				
	(3/7～)	(3/14～)	(3/21～)	(3/28～)	(4/4～)	(4/11～)	11	12	13	14	15
インフルエンザ	45.49	28.06	23.02	11.57	6.22	6.25					
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0.03					
咽頭結膜熱	0.06	0	0.12	0.03	0.03	0.12					
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.58	0.36	0.45	0.55	0.30	0.73					
感染性胃腸炎	4.27	5.33	3.21	3.52	2.76	3.97					
水痘	1.39	1.64	1.24	1.36	1.67	1.45					
手足口病	0.06	0	0.15	0.21	0.12	0.06					
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.12	0.03	0.09	0	0	0					
突発性発しん	0.64	0.39	0.67	0.73	0.52	0.52					
百日咳	0	0	0	0	0	0					
風しん(三日はしか)	0.06	0	0	0	0	0					
ヘルパンギーナ	0.03	0	0.03	0.03	0	0.15					
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0					
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.82	0.61	0.82	0.91	0.91	1.15					
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0					
流行性角結膜炎	0.29	0.29	0.43	0.14	0.29	0.43					
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0					
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0					
マイコプラズマ肺炎	0.14	0	0	0.14	0	0					
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0					
成人麻しん	0	0	0	0	0	0					

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第15週、4/11～4/17)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								
	県	大津	草津	水口	八日市	彦根	長浜	今津	
インフルエンザ	6.25	4.64	5.30	11.71	3.00	3.43	13.20	6.33	
RSウイルス感染症	0.03	0	0	0	0	0	0	0.50	
咽頭結膜熱	0.12	0.29	0	0.25	0	0	0	0.50	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.73	0.43	1.33	0	0.20	0.50	0.20	4.50	
感染性胃腸炎	3.97	6.86	7.17	2.50	2.40	1.50	1.40	2.50	
水痘	1.45	1.71	0.83	0.75	3.80	2.25	0	0	
手足口病	0.06	0.14	0	0	0.20	0	0	0	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0	0	0	0	0	0	0	0	
突発性発しん	0.52	0.29	0.83	0	0	1.25	0	2.00	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.15	0	0.67	0	0	0	0	0.50	
麻疹(成人麻疹を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	1.15	1.14	1.33	0.25	1.60	2.75	0.40	0	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.43	0	1.00	0	1.00	1.00	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻疹	0	0	0	0	0	0	0	0	

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



今週の発生状況:

保健所管内別の定点当たり患者数は上記のグラフのとおりです。感染性胃腸炎は水口以外で先週より増加し、水痘は大津で増加しています。突発性発しんは彦根および今津で先週より増加し、ヘルパンギーナは草津で多くなっています。
また、RSウイルス感染症は今津から報告されています。

- 全数報告感染症 -

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。これを全数報告の感染症といえます。

* 感染症法: 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

- 定点当たり患者数 -

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。

* 疾患により定点数は異なります。

3) 今週のトピックス

長浜保健所管内にインフルエンザの流行発生警報 水口保健所管内に再びインフルエンザの流行発生注意報

定点把握の対象となる5類感染症の発生状況は、先週(4月4日～4月10日)の報告数とほぼ同じですが、インフルエンザについては大津および彦根保健所管内以外で増加しています。

今週、増加を示した疾患はA群溶レン菌咽頭炎、感染性胃腸炎、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)等です。また、水痘および手足口病は減少しています(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフを参照)。

インフルエンザについては、先週の定点当たり患者数6.22より少し増加し6.25となっています。長浜保健所管内の定点当たり患者数は13.20で先週に引き続き「感染症の流行の警報・注意報システム(注)」による**流行発生警報**が出されています。水口保健所管内においても定点当たり患者数は11.71となり**流行発生注意報**が再び出されています。

また、平成17年4月18日以降、彦根、長浜、草津および大津保健所管内の小学校においてインフルエンザによる学級閉鎖の発生がみられますので、今後の発生動向に注意する必要があります(滋賀県健康推進課より資料提供)。

流行発生警報は定点当たり患者数が30人以上となった時にですが、一度警報が出ると定点当たり患者数が10人以下になるまで継続して出されます。流行発生注意報は定点当たり患者数が10人以上となった時にでされます。

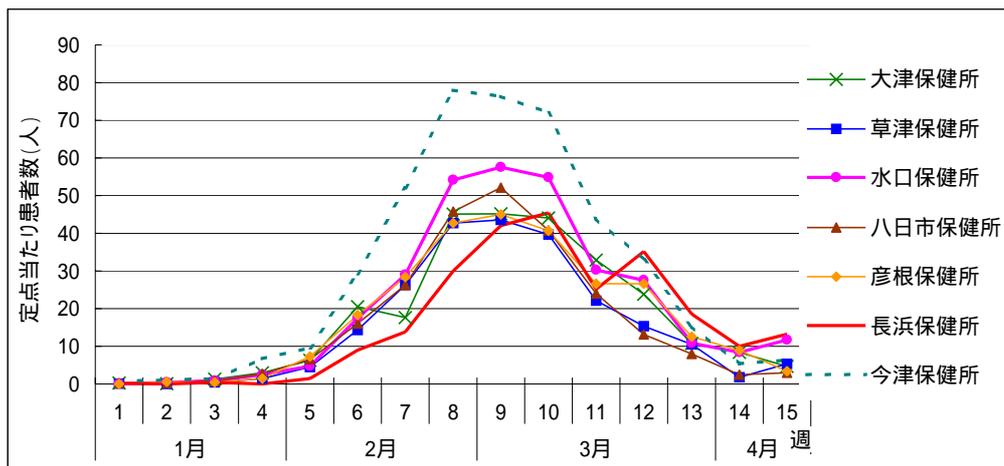
* 詳細については警報・注意報発生システムとは(国立感染症研究所 感染症情報センター)参照

<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/inf-ho/guide04.html>

A群溶レン菌咽頭炎については、先週の定点当たり患者数0.30より増加し0.73となっています。特に今津保健所管内において増加し定点当たり患者数は4.50となっています。

流行性耳下腺炎については、先週の定点当たり患者数0.91よりやや増加し1.15なっており大津、草津および彦根保健所管内で増加しています。定点当たり患者数はそれぞれ1.14、1.33、2.75です。また、八日市保健所管内では先週に引き続き1.60と多くなっています。

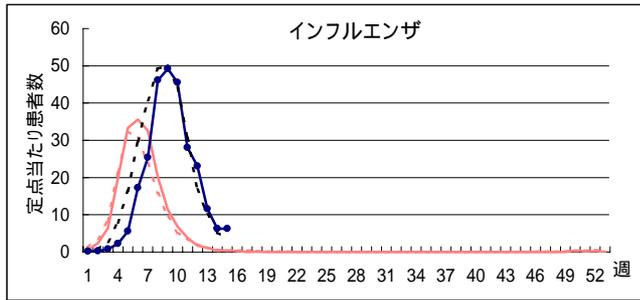
インフルエンザの保健所管内別発生状況(平成17年第1～15週、H17.1.3～17.4.17)



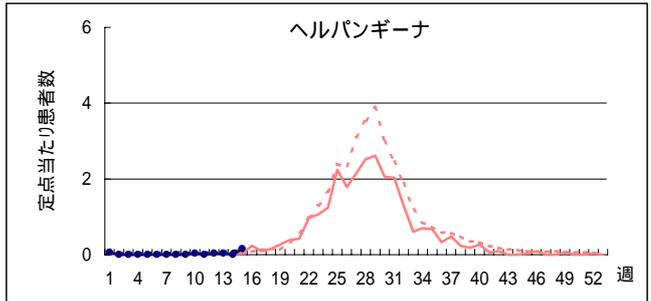
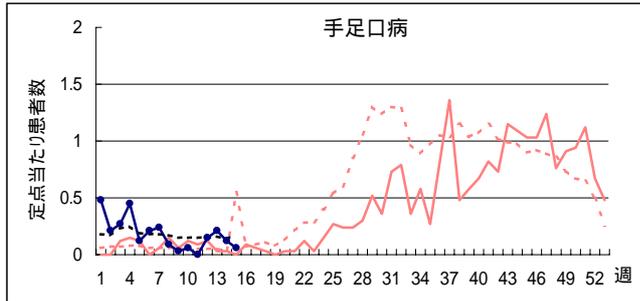
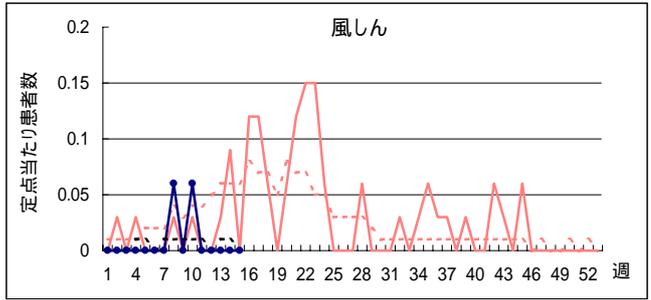
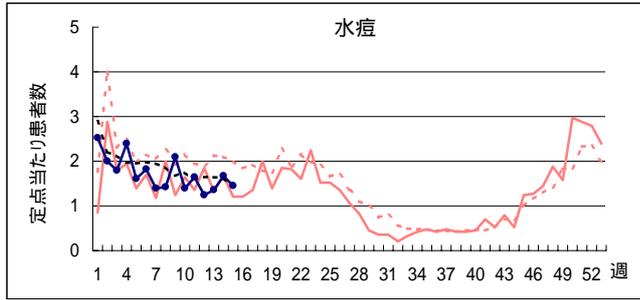
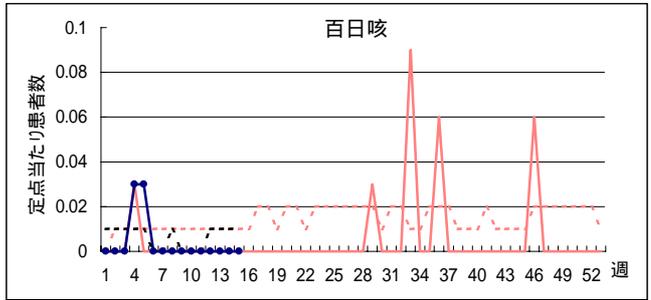
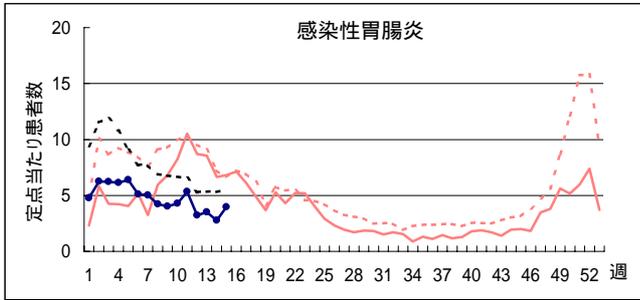
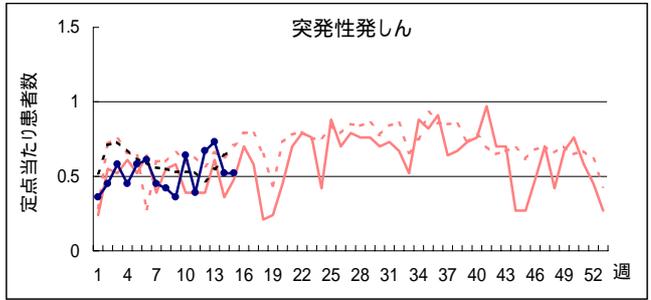
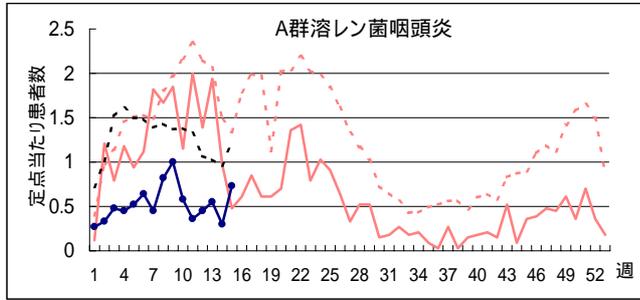
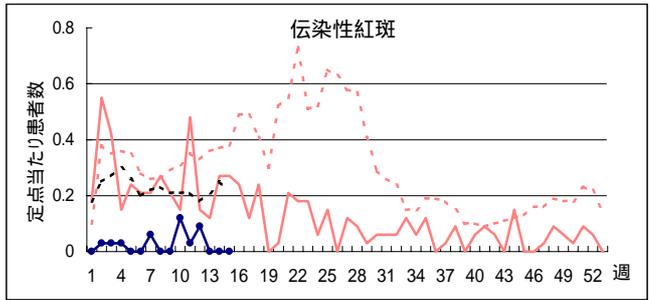
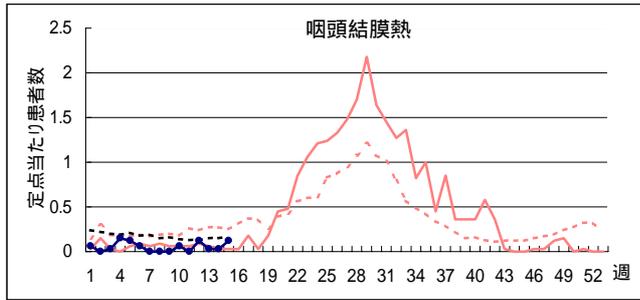
第1～14週における発生状況についてみると、第4週ごろから増加し始め第6週には急増し、第8～10週には各保健所管内において発生のピークとなりました。その後、第14週までは順調に減少傾向を示していましたが第15週には再び増加(微増)しています。過去の発生状況と比較すると、例年この時期に増加することはありませんでしたので今後の発生状況に注意する必要があります。

全国集計などの詳細な集計結果は、**国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ**(<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)において公表されています。

疾病別定点当たり患者数(平成17年第1週～第15週、H17.1.3～H17.4.17)



H16 { 滋賀 (solid red line)
 全国 (dotted red line)
 H17 { 滋賀 (solid blue line with dots)
 全国 (dotted black line)



疾病別定点当たり患者数(平成17年第1週～第15週、H17.1.3～H17.4.17)

H16 { 滋賀 ———— 全国 }
 H17 { 滋賀 ●——● 全国 }

